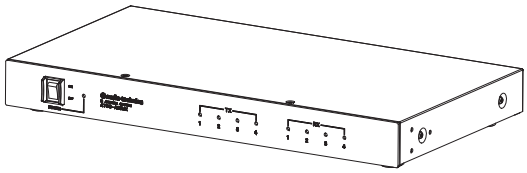
audio-technica

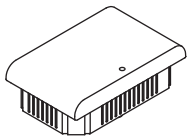
取扱説明書

赤外線アンテナシステム

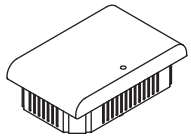
ATCS-A60MX
受発光ミキサー



ATCS-A60TX
発光ユニット
(インジケーター：グリーン)



ATCS-A60RX
受光ユニット
(インジケーター：レッド)



特 長

●電波を使用しない赤外線伝送方式。
隣接した部屋との混信の心配がありません。

●赤外線方式は情報漏洩に強く、電波式ワイヤレスマイクや、2.4GHz会議マイクシステムとの混信もありません。

●高出力発光ユニット、高感度受光ユニットと、信号の混合分配システムにより大会議室や天井の高い会議室でも使用可能。

●受光ユニットと発光ユニットを連結させることにより、コンパクトなセッティングが可能。

●受発光ミキサーにより受光、発光ユニットの追加施工が可能。会議室の広さに応じて、運用エリアを広げることができます。

お買い上げありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書を必ずお読みください。また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

⚠ 危険

● 分解しないでください。火災、感電や故障の原因となります。
● 湿度の高い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。誤って水が入ると感電、故障や火災の原因になります。

⚠ 警告

● 調理台に近く、油，煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。
● 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
● 梱包のポリ袋は幼児の手の届かないところに置いてください。
また火のそばに置かないでください。

⚠ 注意

● 直射日光に当たる場所、暖房機器の近く、ほこりの多い場所に置かないでください。

⚠ 設置上の注意

● 受光ユニットは高感度なため直射日光の射し込む場所などでは、ノイズを発生することがあります。その場合はカーテンなどで窓を覆ってください。
● 振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になることがあります。
● 受光ユニットを照明器具の近くやスポットライトの光があたる場所に設置しないでください。
● 調理台の近くなど、油、蒸気、熱のあたる場所には設置しないでください。
● 振動する場所には設置しないでください。
● 赤外線の到達距離は、天井や壁の色や材質によっても変化する場合があります。
● 到達距離とは無関係にノイズが発生する場合があります。その場合には適切な場所に発光ユニット、受光ユニット、受発光ミキサーを設置してください。
● 受光ユニットは、蛍光灯から50cm以上離して設置してください。
● 音声ケーブル・受光ユニットケーブルの配線上に大型電気機器がある場合に、ノイズが発生する可能性があります。
● プラズマディスプレイ、同時通訳システムなど赤外線を使用した機器とは、同時使用できない場合があります。
● その他下記の赤外線発生源の近くに受光ユニット、受発光ミキサーを設置すると、システムの動作不良やノイズが発生する原因となる可能性があります。また、マイクロホンについても同様に赤外線やノイズの発生源に近付けないように注意してください。

・照明装置
・OHP、白熱電球など
・ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
・プラズマディスプレイ
・リモコン、赤外線マイク、赤外線LANなどの赤外線機器
・調光器
・デジタルパワーアンプなどの、デジタル機器及びその配線
(デジタルパワーアンプのスピーカー出力配線など)

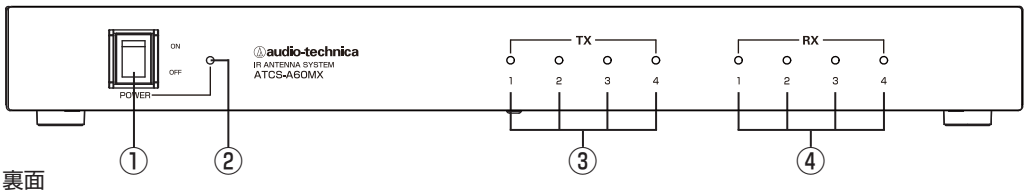
目次

受発光ミキサー：各部の名称と機能 ——— 2
受光・発光ユニット：各部の名称と機能 ——— 2
受発光ミキサー：接続のしかたと接続例 ——— 3
受光・発光ユニット ：連結方法 ——— 4
ラックマウントアダプター：使いかた ——— 4
受光・発光ユニット：設置のしかた ——— 5
受光・発光ユニット：セッティング例 ——— 6
テクニカルデータ ——— 7
故障かな？と思う前に ——— 7
外形寸法図 ——— 7

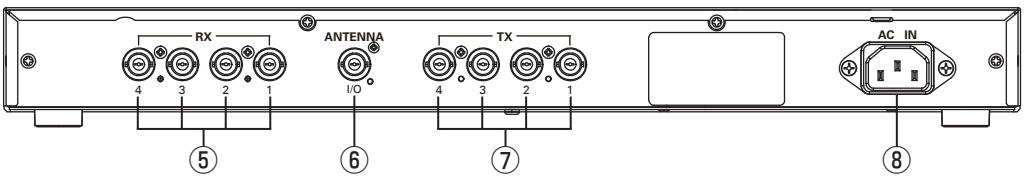
受発光ミキサー：各部の名称と機能

ATCS-A60MX

正面



裏面



① **電源スイッチ**
スイッチ上部を押すと電源が入り、下部を押すと電源が切れます。

② **電源インジケーター**
電源が入ると赤色に点灯します。

③ **発光ユニット(TX)接続インジケーター（接続時グリーンに点灯）**
※発光ユニット接続端子に誤って受光ユニットを接続した場合、接続インジケーターは点灯しません。

④ **受光ユニット(RX)接続インジケーター（接続時レッドに点灯）**
※受光ユニット接続端子に誤って発光ユニットを接続した場合、接続インジケーターは点灯しません。

⑤ **受光ユニット(RX)接続端子(BNC)×4**
受光ユニットを接続した同軸ケーブルを接続します。

⑥ **I/O接続端子(BNC)**
ATCS-C60のINFRARED TX/RX端子(BNC)へ接続します。

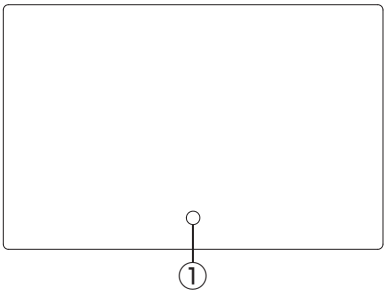
⑦ **発光ユニット(TX)接続端子(BNC)×4**
発光ユニットを接続した同軸ケーブルを接続します。

⑧ **ACインレット**
付属の電源コードを使用しAC100V 50/60Hzの電源に接続します。
アース端子は必ずアースに接続してください。

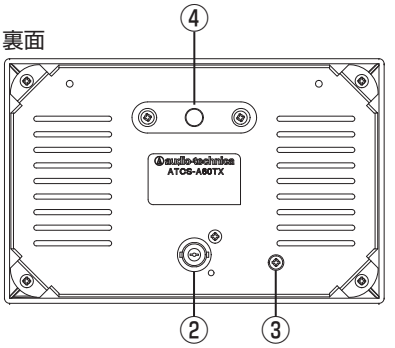
受光・発光ユニット：各部の名称と機能

ATCS-A60TX/ATCS-A60RX

正面



裏面



① **電源インジケーター**
発光ユニット(TX)：グリーンに点灯
受光ユニット(RX)：レッドに点灯

② **BNCコネクタ**
ATCS-A60MXに接続します。

③ **落下防止用ワイヤー取り付けビス**
設置の際に落下防止のワイヤーを取り付けます。
※落下防止ワイヤーは付属しておりません。

④ **1/4インチカメラネジ穴**

受発光ミキサー：接続のしかたと接続例

■接続のしかた

① 受発光ミキサーの I/O接続端子とATCS-C60のTX/RX端子を接続します。
② 受発光ミキサーの発光ユニット(TX)接続端子と発光ユニットATCS-A60TXを接続します。
③ 受発光ミキサーの受光ユニット(RX)接続端子と受光ユニットATCS-A60RXを接続します。
④ 受発光ミキサーの電源コードの先端プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。

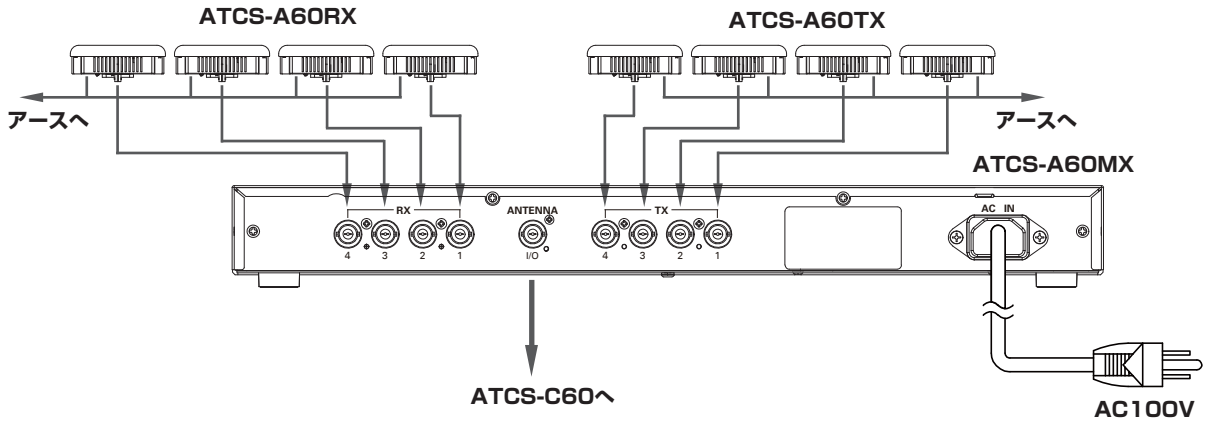
※ 外来ノイズ対策のため各ATCS-A60TX/ATCS-A60RXは、落下防止用ワイヤー取り付けビスを使用してアースに接続することを推奨します。

⚠ 注意

●受光・発光ユニットを複数個接続される場合、つなぐコードの長さはTX・RXそれぞれできるだけ同じにしてください。長さの差が大きいとノイズが増えることがあります。

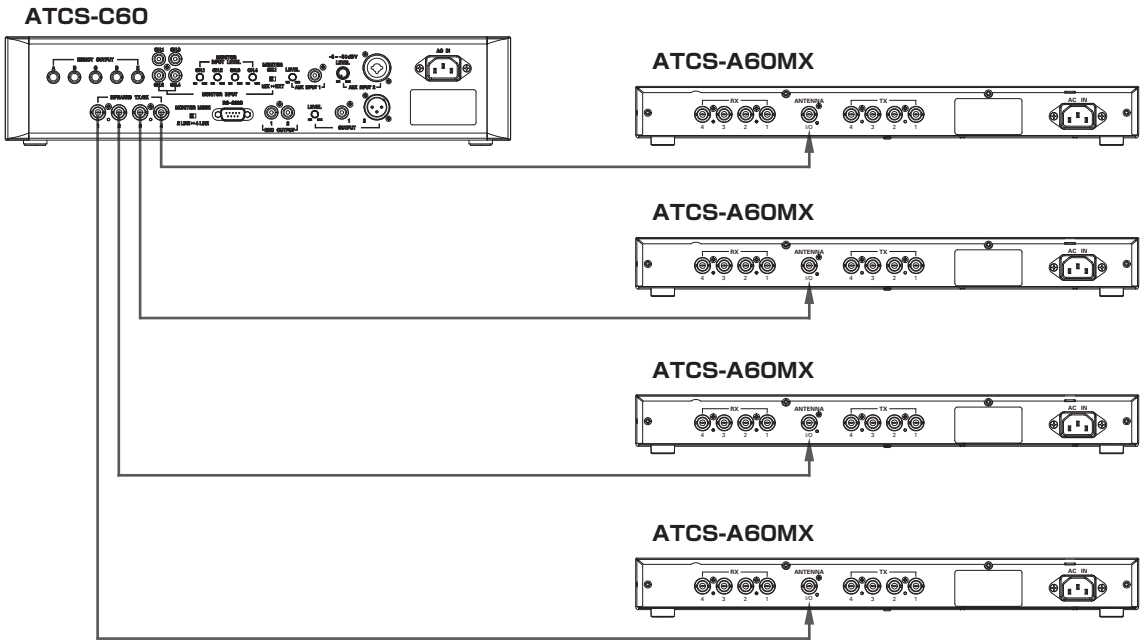
●受光・発光ユニット接続例

ATCS-A60TX/ATCS-A60RXは最大4台ずつ接続できます。
※ATCS-C60へ直接接続することはできません。



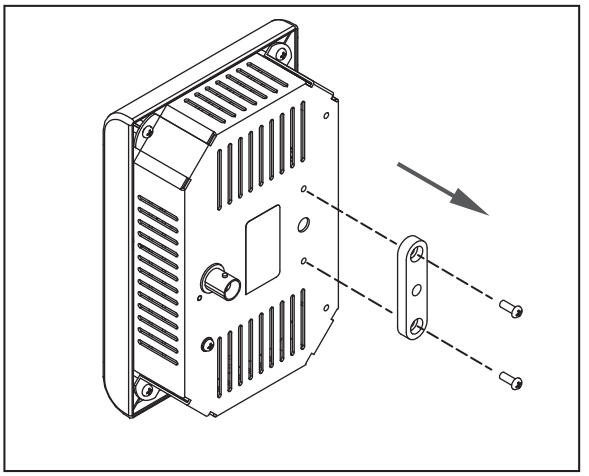
●運用エリアを広げる場合

ATCS-C60にはATCS-A60MXを最大で4台接続することができます。

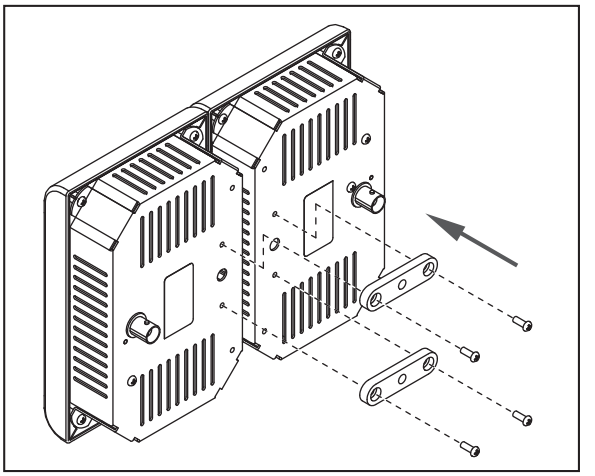


受光・発光ユニット：連結方法

受光ユニットと発光ユニットを連結することにより、コンパクトなセッティングが可能となります。
※プラスドライバーをご用意ください。



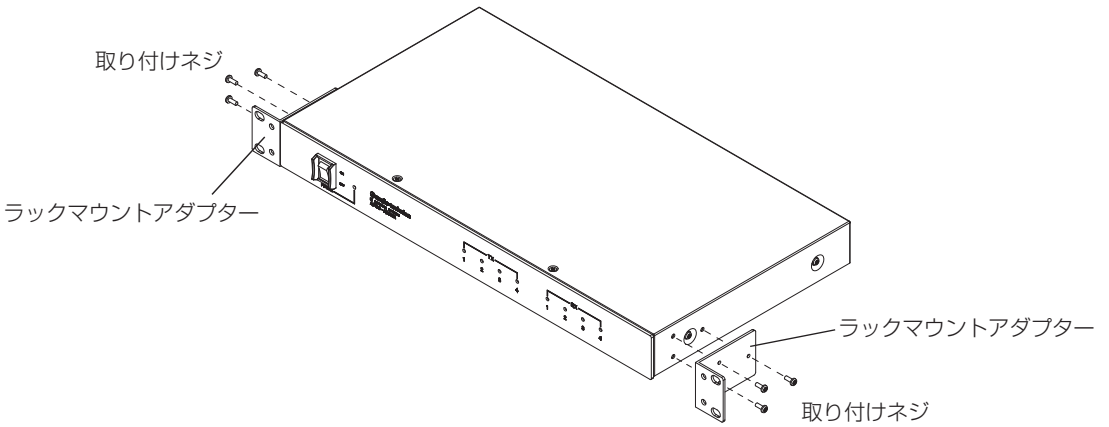
① 受光・発光ユニット裏面に取り付けてあるカメラネジアダプターをはずします。



② 取り外したカメラネジアダプターを上図の向きで取り付けます。
※ネジは4本しっかり取り付けてください。
※発光ユニットATCS-A60TXは発熱します。その熱が受光ユニットATCS-A60RXに影響しないように、図を参照して設置してください。

ラックマウントアダプター：使いかた

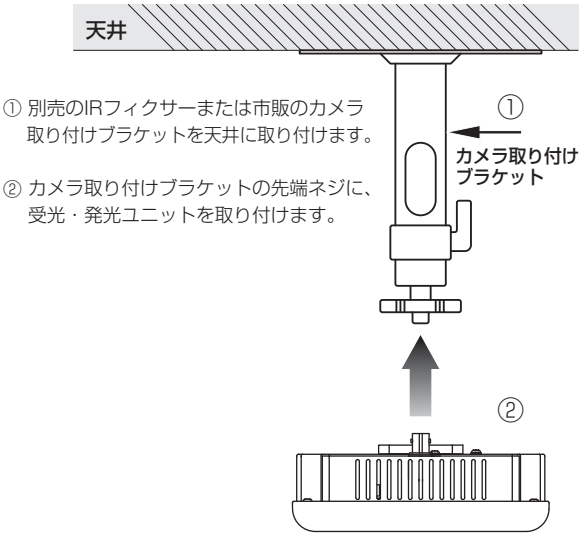
ラックマウントでご使用の場合、受発光ミキサーATCS-A60MXに付属のラックマウントアダプターを取り付けます。
※プラスドライバーをご用意ください。



① 受発光ミキサーの側面に付属のラックマウントアダプターを取り付けネジで取り付けます。
※ラックマウントアダプター取り付けネジは左右3本ずつ、しっかり取り付けてください。

受光・発光ユニット：設置のしかた

●カメラネジアダプターを使用する場合



① 別売のIRフィクサーまたは市販のカメラ取り付けブラケットを天井に取り付けます。

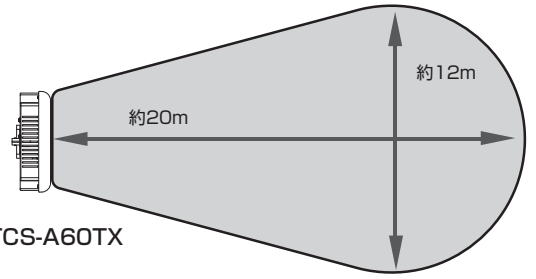
② カメラ取り付けブラケットの先端ネジに、受光・発光ユニットを取り付けます。

⚠取り付け上の注意

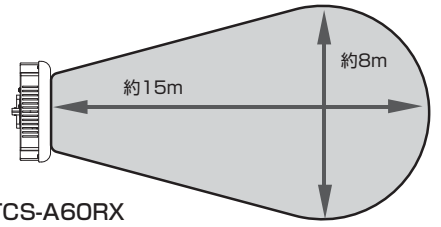
- 受光・発光ユニットのコードを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線することがありますのでご注意ください。
- 取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。
- 受光ユニットATCS-A60TXは発熱しますので、放熱の穴をふさがないように設置してください。

●受光・発光ユニット指向特性の目安

（角度調整の参考にしてください。）



ATCS-A60TX

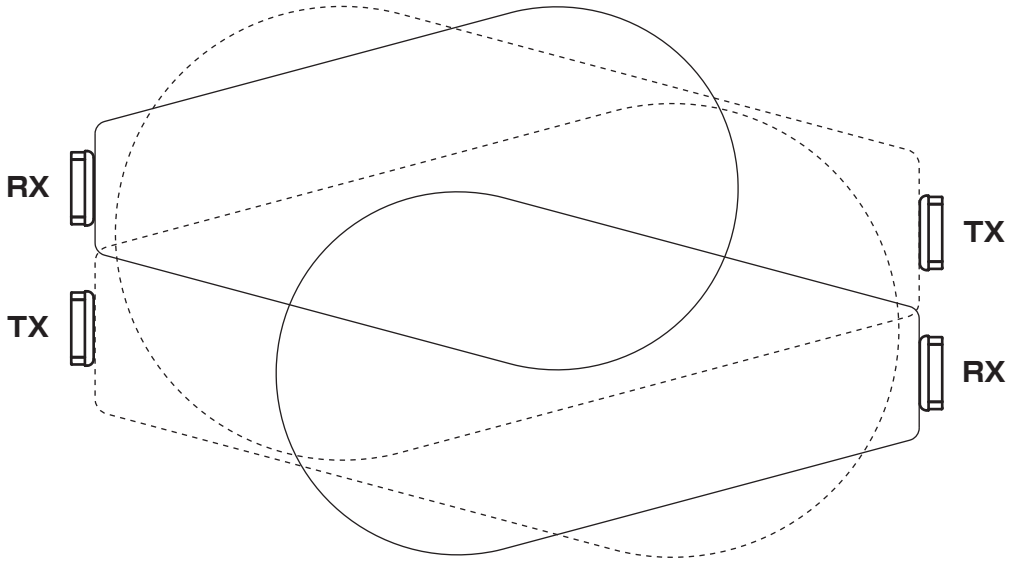


ATCS-A60RX

受光・発光ユニット：セッティング例

● 受発光範囲がある程度重なるように受光・発光ユニットを取り付けると効果的です。

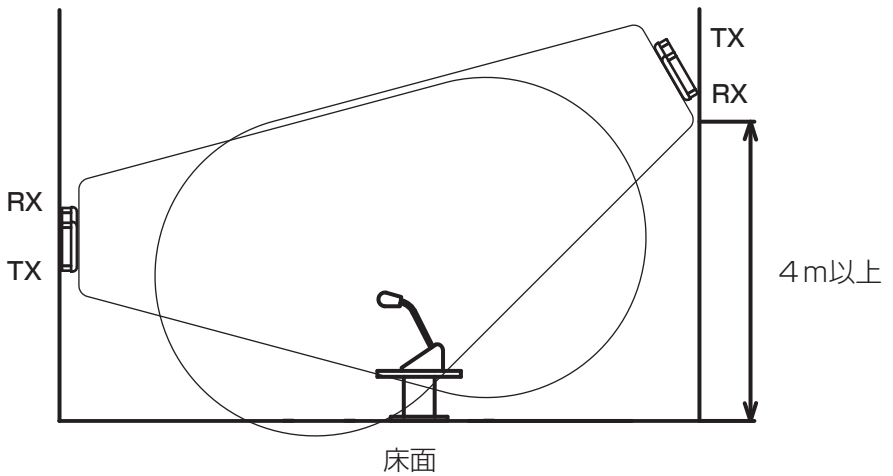
上から見た場合



TX発光エリア(点線 - - - - -)：正面にて20m
RX受光エリア(実線 ―――)：正面にて15m

● 取り付け高さが4mを超える場合、取り付けに角度をつけます。

横から見た場合



テクニカルデータ

ATCS-A60MX

発光ユニット接続端子	：BNC×4（75Ω）
受光ユニット接続端子	：BNC×4（75Ω）
I/O 接続端子	：BNC×1（75Ω）
使用温度範囲	：0℃～ +40℃
消費電力	：50W
電源	：AC100V、50/60Hz
外形寸法	：H44×W420×D225mm
質量	：約 3.0kg
付属品	：AC コード
	：ラックマウントアダプター ×2
	：ラックマウントアダプター用 取り付けネジ×6

ATCS-A60TX

通信方式	：赤外線コードレス方式
使用周波数帯域	：8 ～ 10MH z
赤外線波長	：870ｎｍ
変調方式	：周波数変調
到達距離	：約 20m（ATCS-M60 NORMAL 発光時）
使用温度範囲	：0℃～ +40℃
接続端子	：BNC ジャック
電源	：ATCS-A60MX から供給（DC24V）
外形寸法	：H44×W149×D97mm
質量	：約 351g

ATCS-A60RX

通信方式	：赤外線コードレス方式
使用周波数帯域	：1 ～ 5MH z
赤外線波長	：870ｎｍ
変調方式	：周波数変調
到達距離	：約 15m（ATCS-M60 NORMAL 発光時）
使用温度範囲	：0℃～ +40℃
接続端子	：BNC ジャック
電源	：ATCS-A60MX から供給（DC24V）
外形寸法	：H44×W149×D97mm
質量	：約 386g

故障かな？と思う前に

受発光ミキサーの電源が入らない

・電源コードがコンセントに差し込んでありますか？
→電源コードをコンセントに接続してください。

通信できない

・マイクと受光・発光ユニットとの間に障害物がありませんか？
→直視可能な場所に設置してください。
※距離は室内の状況により変化します。
→P.5のセッティング例を参考に到達範囲内でご使用ください。

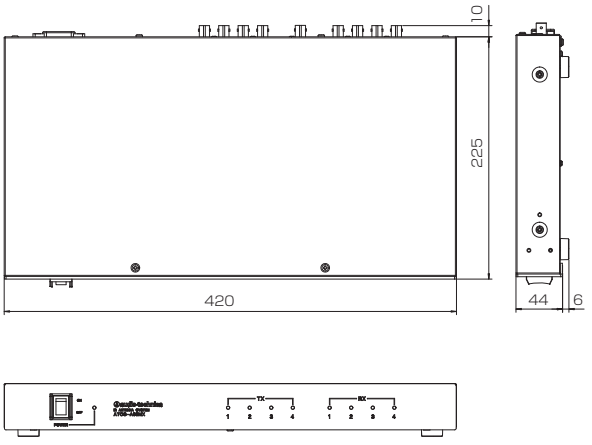
・発光ユニットと受光ユニットの接続を間違えていませんか？
→受発光ミキサーの接続インジケーターが点灯していることを確認してください。
→点灯していない場合は正しい接続に直してください。

・受発光ミキサーのI/O入出力端子とATCS-C60のTX/RX端子が接続されていますか？
→接続してください。

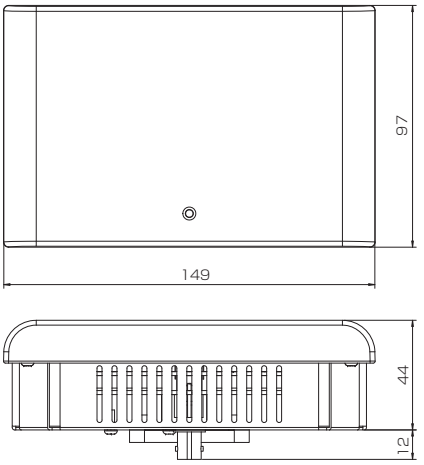
外形寸法図

（単位：mm）

ATCS-A60MX



ATCS-A60TX/ATCS-A60RX



audio-technica®

always listening

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、
または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ
http://www.audio-technica.co.jp

環境保護、資源リサイクルのため
古紙配合率100%再生紙を使用しています。 142313650